





完成近い母校(昭和2年) [現 付属鎌倉小・中学校の場所]

専攻科生徒は「師範の震災後の復興は実に目覚ましいものだ。千人から千五百人も入るといふ大講堂も着々と其の工事が進んでいる。来春は早々使用の運びになるらしい。その他特別教室は本館の後に最早堂々たる骨を見せている。流石に日本一の校舎になろう。来年桜の咲く頃は、改築竣工披露兼創立五十周年記念の大々の祝典があるそうだ。もう一年遅れて入学してくればよかったのにと思っている」と喜びを語っている。

竣工年度は、本館及び柔剣道場が大正14年、寄宿舎、炊事場、銃器庫、付属小学校が大正15年。師範学校の生徒数は、専攻科41名、5年78名、4年77名、3年78名、2年72名、1年79名、二部81名で、各学級。現在と比べると羨ましい教育環境である。



創立五十周年記念事業に就いて

明治九年六月二十八日創設に係る母校は、鳥取勿々荘に年世紀、明治大正文運盛々たる時に際して、母校並に幾多の卒業生が、我が教育事業に或は社会事業に精勵奮闘を積り以て奉仕貢献した業績の数々を追憶する時、感慨無量切なるを覚えるのであります。

昨年既に創立五十周年に該當するのでありますが、時給も改築工事中でありますので、明年竣工を期し落成式を兼ねて、大々的に創立五十周年記念式並に祝賀会を挙げることに延期されたのであります。

我が友松會は、本年三月五日臨時委員会及び五月十九日定期委員会を開催し、此の案ある記念式を期し會員一致の協力を以つて、左記の事業を遂行することを議決しました。

- 幹事 金子 馨
- 一、期日 第一月朔和三五年五月中の日曜日の豫定
  - 新築落成式 創立記念式
  - 職員謝恩式 午 餐 會
  - 文松會總會及庶務部 午 餐 會
  - 第二日(同月曜) 記念式 祝賀會 記念音樂會
  - 祝賀夜會
  - 二、總 會 方法は例年と同じでありますが一、新時期を劃する時に當つて、過去五十年の跡を追憶反省し、將來進むべき道を考慮計畫すべき絶好の機会でありますので、多数の會員の奮つて御參會あらん事を切望する次第であります。
  - 三、取 扱

会務報告によると、創立五十周年祝賀会に関する記念事業として、總會、慰靈祭、母校職員勤続者への記念品贈呈、記念会館設立、友松會誌記念号発行が決定されている。

前年が該当年であったが、改築工事中のため、翌年昭和3年の竣工を期し、落成式を兼ねて大々的に記念式並びに祝賀会を挙げることに延期されたとある。記念事業にある友松會館の新築設計図が載っている。予算額は壹万円で、母校に隣接して地代無料の敷地を選定すべく苦心していたこともうかがえる。

